



ダムニュース

[法人名] 一般財団法人ダム技術センター
[郵便番号] 〒110-0008
[住所] 東京都台東区池之端2-9-7池之端日殖ビル2F
[電話] 03-5815-4161
[FAX] 03-5815-4162
[ウェブサイト] <http://www.jdec.or.jp/>
[電子メール] damnews@jdec.or.jp

この号の内容

- 1 津軽ダムが“低水管理賞”を受賞
- 2 “津軽ダム真冬の特別見学会”を実施
- 3 Dam news 投稿記事募集
- 4 図書販売



放流バルブ室前から雪の津軽ダムを見上げます。



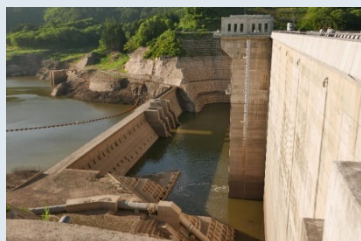
▲賑わいで熱気に包まれるイベント会場の様子
(提供: 日本ダムアワード選考委員会)



▲各部門のプレゼンターの方々と観客の記念写真
(提供: 日本ダムアワード選考委員会)



▲受賞ダムへ贈られる豪華なトロフィーと楯
(提供: 日本ダムアワード選考委員会)



▲水位低下に伴い出現した“目屋ダム”



▲ダム湖側から見た“津軽ダム”と“目屋ダム”の位置関係
(令和元年8月15日撮影)



▲渇水により川のように見えるダム湖貯水池上流部の様子



国土交通省が管理する一級河川岩木川水系岩木川上流部に位置する“津軽ダム”（青森県中津軽郡西目屋村）が、去る令和元年12月28日（土）『日本ダムアワード2019（主催：日本ダムアワード選考委員会）』において“低水管理賞”を受賞しました。日本ダムアワードは、一年間のダムの活躍を振り返り、各部門で当該年にもっとも印象に残る働きをしたダムを選出し、その功績を讃えるというイベントで、毎年年末に東京都内で開催されています。

津軽ダムは令和元年5月から7月、近年稀にみる少雨でしたが、津軽地方におけるかんがい期間中（5/1～9/5）において、河川状況の監視や関係機関との連携を図りながらかんがい用水等の利水補給を行った功績が評価され、低水管理部門でのノミネートとなりました。アワードではダムライターでダム写真家の萩原雅紀様が、平成以降最小規模相当の少雨の中でかんがい用水などの利水補給達成までの道のりを『大きいことは、いいことだ』と題してプレゼンテーションを行いました。

低水管理賞には津軽ダムの他、全国の3ダムがノミネートされましたが、投票の結果最多得票を集め津軽ダムが“低水管理賞”を受賞しました。この低水管理賞は、2015年に“目屋ダム”（同村）が受賞しており、目屋ダムの再開発事業である津軽ダムが今回受賞したことで全国初の『親子受賞』となりました。

この受賞を津軽ダムに関わる全ての方々と喜び、また、自らの励みとして今後も適切なダム管理と地域社会への貢献に努めて参りますので変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所）

●日本ダムアワードとは？

一年間のダムの活躍を振り返り、ダムファン有志による選考委員が様々な角度から活躍したダムをノミネート。選考委員と観客（ダム愛好家）の皆さんによる投票で、各部門で今年もっとも印象に残る働きをしたダムを選出し、その功績を讃えよう、というイベントです。

（“日本ダムアワード”ウェブサイト <http://japandamaward.org/>）

◆津軽ダムのプレゼンの様子です！ (提供: 日本ダムアワード選考委員会)





▲まずは、資料展示室での概要説明です。



▲ダム天端での記念撮影、まさに真冬！



▲急な階段をひたすら降ります。
まだ余裕の表情です！



▲ダム堤体内部での説明。
皆さん、真剣です！



▲放流バルブ室前から雪の津軽ダム
を見上げます。



▲今度はひたすら階段を上ります。
ラストスパート！頑張っね！



令和2年1月8日（水）、国土交通省が管理する一級河川岩木川水系岩木川の上流部に位置する“津軽ダム”（青森県中津軽郡西目屋村）において、平成29年4月に津軽ダムが管理に移行して以来初の試みである『真冬の特別見学会』を実施しました。この見学会は、真冬の世界自然遺産を望む雪景色への招待と、“津軽ダム”堤体内部を見学しながら全て自分の足で上り下りすることで真冬の運動不足解消を図ることを目的に開催したものです。

ダム堤体内部の狭い監査廊を一周歩いて見学するという事で、募集は安全面も考慮し“目が行き届き”且つ“纏まりがある”少人数制の15名に設定しました。年始早々の実施にも関わらずホームページでの募集開始2日後には定員が埋まり、開催日が小学校の冬休み期間でもあることから大人15名、子供3名の計18名を受け付けました。この反応の速さには主催者側としても正直驚き、津軽ダムへの関心と健康増進への意識の高さを窺い知ることができました。

当日の天候は真冬らしい雪模様でしたが、ダム堤体内部の気温は約15℃に保たれており外気の氷点下とは比べ物にならないくらい快適でした。歩いて階段を上り下りする参加者たちは次第に汗だくとなり、スタート地点に戻った2時間後には“半そで”の方も居て戻りの方が荷物が多くなっている方もいらっしゃいました。

参加者からは、『これはきつい！』『いい運動だった！』『意外にダムの中はあったかい！』等の声があちこちで飛び交い、真冬の津軽ダムパークの雪を溶かしそうな程の熱気が発せられていました。

（東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所）

世界自然遺産を望むアングルでの “津軽ダム”



Dam news 投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。

内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。

1. イベントの開催通知・報告（水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等）
2. 小学生等によるダム見学会についての報告（絵・感想文等）
3. ダム所在地等における伝統的な行事の紹介（祭り等）
4. ダム事業に関するPR 活動の紹介（パンフレット、ポスター等）
5. ダム周辺の自然紹介
6. ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介（スポーツ大会等）
7. 研究会・講演会・シンポジウムの開催（通知・報告）
8. 水害・地震等報告
9. ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡ください。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

〔法人名〕 一般財団法人 ダム技術センター『ダムニュース』 編集事務局

〔郵便番号〕 〒110-0008

〔住所〕 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

〔担当者〕 企画部 ダムニュース担当

〔電話〕 03-5815-4161

〔FAX〕 03-5815-4162

〔電子メール〕 damnews@jdec.or.jp

図 書 販 売

1. ダム技術
 - ・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約（定期購読申込）
平成31年4 月号（No. 391）～9月号（No. 396） 1,260円（税別・送料込）
10月号（No. 397）～令和2年3月号（No. 402） 1,273円（" "）
2. 多目的ダムの建設 平成17年版（全7巻）
 - ・平成17 年 6 月発行 A4 判 88,200 円（税込・送料別）
3. RCD工法技術の進歩
 - ・平成17 年 12 月発行 A4 判 4,500 円（税込・送料別）
4. ダムの安全管理
 - ・平成18 年 5 月発行 B5 判 2,000 円（税込・送料別）
5. 台形CSG ダム施工・品質管理技術資料
 - ・平成19 年 9 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）
6. 地質現象とダム
 - ・平成20 年 6 月発行 A4 判 7,000 円（税込・送料別）
7. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術
 - ・平成22 年 8 月発行 A5 判 6,000 円（税込・送料別）
8. ダム工事積算の解説 平成23 年版
 - ・平成23 年 5 月発行 A4 判 1,900 円（税込・送料別）
9. 改訂版 巡航RCD工法施工技術資料
 - ・平成24 年 2 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）
10. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料
 - ・平成24 年 6 月発行 A4 判 3,000 円（税込・送料別）
11. ダム基礎における立体的岩盤透水性分布の把握手法
 - ・平成25年 5 月発行 A4 判 5,000 円（税込・送料別）
12. ダム技術Q&Aー総集編ー改訂版 I
 - ・平成27年3月発行 A4判 3,000円（税別・送料別）
13. ダムの地質調査ーボーリング・調査坑・トレンチー
 - ・平成27年3月発行 A4判 6,000円（税込・送料別）
14. ダム工事積算の解説（平成28年度版）
 - ・平成28年5月発行 A4判 2,500円（税込・送料別）

書店では販売をしておりません。

お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。

申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 図書販売担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] books@jdec.or.jp

図書注文書

一般財団法人ダム技術センター図書販売担当宛

FAX (03-5815-4162)

下記のとおり注文します。

No	書籍名	部数
1		
2		
3		

*公/私どちらかに○をお付け下さい。 公→宛名（会社名） 私→宛名（申込者名）となります。		公・（宛名（会社名）） 私・（宛名（申込者名））	
申込者 （ご氏名）	ふりがな		
会社名			
事務所名・ 部署名			
所在地	（〒 - ）		
TEL		FAX	
E-mail			
通信欄			

- ◆ご注文の商品は、3 日～10 日程度でお手元に届きます。
- ◆請求書、納品書、見積書は、商品とは別途郵送にてお届けいたします。（到着日は、商品と1 日程度誤差あり）
- ◆代金お支払いについて、郵便振替時の手数料は当センターが負担いたします。なお、銀行振込でお支払いされる場合には、お手数ですがお振込日・お取扱銀行・請求書番号(請求書右上)・金額を必ず書面(FAX もしくは通知状)にてご通知下さい。
- ◆銀行振込の手数料は、お客様のご負担となります。ご通知がない場合、代金が振り込まれても未払い扱いとなり、後日再請求する可能性があります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
- ◆特定の様式による請求書等をご希望の際は、注文書、指定請求用紙などを同封の上、郵便もしくはFAX、E-mail等にて上記の問い合わせ先にお申し込み下さい。なお、郵便によるご注文の場合、商品到着までに通常より日数がかかりますのでご了承下さい。

[法人名] 一般財団法人 ダム技術センター 図書販売

[郵便番号] 〒110-0008

[住所] 東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F

[担当者] 図書販売担当

[電話] 03-5815-4161

[FAX] 03-5815-4162

[電子メール] books@jdec.or.jp